



# [公開] SDGs対応推進特別調査委員会 建築はどう持続可能な発展に貢献するのか？



日時：3月1日(月) 13時～17時  
会場：オンライン (Zoomミーティング/定員500名)  
<https://zoom.us/j/93420270811?pwd=cjM3UmhUNktOK1UrU0RMY2N3MUdVdz09>

ミーティングID: 934 2027 0811      パスコード: 714054

\*上記URLより自由にご参加ください。当日は開始15分前から入室可能です。

参加費：無料

\*資料のダウンロード用URLを当日お知らせします。

気候非常事態、新型コロナ禍の今日、2015年に世界的合意を得た「持続可能な開発のための目標」(SDGs)の達成に向けた、各分野での速やかな行動が必至となっている。市民運動、各学会、各産業界でのSDGsの貢献するための行動は活発化している。日本建築学会においても、2019年からSDGs対応タスクフォースを立ち上げ、本会の全学術調査委員会へのSDGs関連アンケートを実施し、各研究分野でのSDGsの17ゴールの全てにわたる研究の推進の実績を確認し、さらなるSDGsに向けた研究活動の重要性が認識されてきている。2020年にSDGs対応推進特別調査委員会を発足させ、大会研究発表梗概でのSDGsのチェックシステムの実施や、「日本建築学会SDGs宣言」案の作成等の活動実績を積み重ねてきた。

今までの活動成果報告、各研究分野でのSDGs関連の取組み、「建築学会SDGs宣言案」の提示等を行い、広く会員、建築関連分野の団体、市民の皆さんと建築分野でのSDGsへの貢献について広く論議をする場を設定した。奮ってのご参加を期待します。

司会：糸長浩司 (日本大学)  
副司会：川久保俊 (法政大学)  
記録：大塚彩美 (早稲田大学)

外岡 豊 (埼玉大学)

## ■主旨説明

## ■主題解説

①SDGsと建築・まちづくり – 建築学会アンケート結果 –

川久保俊 (前掲)

久田嘉章 (工学院大学)

持田 灯 (東北大学)

②構造の視点から

③環境工学の視点から

〈休憩〉

④社会システムの視点から

齊藤広子 (横浜市立大学)

⑤国内でのSDGs活動

佐藤 貢 (エコステージ)

⑥建築学会SDGs宣言について

糸長浩司 (前掲)

〈休憩〉

## ■討論

司会：糸長浩司 (前掲)・川久保俊 (前掲)

パネリスト：登壇者

参加者との討論

■まとめ 伊香賀俊治 (SDGs対応推進特別調査委員会委員長/  
本会副会長/慶應義塾大学)